

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第6部門第3区分
【発行日】平成21年3月26日(2009.3.26)

【公開番号】特開2006-293990(P2006-293990A)
【公開日】平成18年10月26日(2006.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2006-042
【出願番号】特願2006-34319(P2006-34319)
【国際特許分類】

G 0 6 F 3/12 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 3/12 C

G 0 6 F 3/12 P

【手続補正書】

【提出日】平成21年2月9日(2009.2.9)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

両面印刷指示を受付ける受け手段と、

前記受け手段により受け付けた両面印刷指示に応じて両面印刷する際、1ページのジョブを、条件に応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定する決定手段とを有することを特徴とする印刷制御装置。

【請求項2】

両面印刷指示を判別する判別ステップと、

前記判別ステップにより判別した両面印刷指示に応じて両面印刷する際、1ページのジョブを、条件に応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定する決定ステップとを有することを特徴とする印刷制御方法。

【請求項3】

両面印刷指示を判別する判別ステップと、

前記判別ステップにより判別した両面印刷指示に応じて両面印刷する際、1ページのジョブを、条件に応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定する決定ステップとをコンピュータに実行させるプログラム。

【請求項4】

前記決定ステップは、設定されているモードに応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定することを特徴とする請求項3記載のプログラム。

【請求項5】

前記決定ステップは、以前のジョブからの経過時間に応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定することを特徴とする請求項3記載のプログラム。

【請求項6】

前記決定ステップは、以前のジョブと同じアプリケーションのジョブであるか否かに応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定することを特徴とする請求項3記載のプログラム。

【請求項7】

前記決定ステップは、以前のジョブと同じユーザのジョブであるか否かに応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定することを特徴とする請求項3記載のプログラム。

【請求項 8】

前記決定ステップは、以前のジョブと同じ設定のジョブであるか否かに応じて、片面印刷するか、両面印刷するか決定することを特徴とする請求項3記載のプログラム。

【請求項 9】

現在処理中のジョブと以前のジョブとを比較する比較ステップと、
前記比較ステップによる比較結果に応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定する決定ステップとを
コンピュータに実行させるプログラム。

【請求項 10】

前記決定ステップは、現在処理中のジョブのユーザ名が以前のジョブのユーザ名と同じであるか否かに応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定することを特徴とする請求項9記載のプログラム。

【請求項 11】

前記決定ステップは、現在処理中のジョブのアプリケーション名が以前のジョブのアプリケーション名と同じであるか否かに応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定することを特徴とする請求項9記載のプログラム。

【請求項 12】

前記決定ステップは、以前のジョブからの経過時間に応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定することを特徴とする請求項9記載のプログラム。

【請求項 13】

前記決定ステップは、現在処理中のジョブの設定が以前のジョブの設定と同じであるか否かに応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定することを特徴とする請求項9記載のプログラム。

【請求項 14】

両面印刷が指定されているか否かを判別する第1判別手段と、
前記第1判別手段により両面印刷が指定されていると判別された場合、自動判別自動両面印刷が指定されているか否かを判別する第2判別手段と、
前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていると判別され且つ現在処理中のジョブが両面印刷に適するジョブであると判断された場合には、両面印刷すると決定し、
前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていると判別され且つ両面印刷が指定されているが現在処理中のジョブが両面印刷に適さないジョブであると判断された場合には、片面印刷すると決定する決定手段と、
前記第1判別手段により両面印刷が指定されていないと判別された場合には、片面印刷する制御コマンドを生成し、前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていないと判別された場合には、両面印刷する制御コマンドを生成し、前記決定手段により両面印刷すると決定された場合には、両面印刷する制御コマンドを生成し、前記決定手段により片面印刷すると決定された場合には、片面印刷する制御コマンドを生成する生成手段と、
前記生成手段により生成された制御コマンドをプリンタに送信する送信手段としてコンピュータを機能させるプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0026

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0026】

即ち、現在処理中のジョブと以前のジョブとを比較する比較ステップと、

前記比較ステップによる比較結果に応じて、現在処理中のジョブを常に両面印刷を行う両面印刷にするか、条件により片面印刷を行う両面印刷にするか決定する決定ステップとをコンピュータに実行させることを特徴とする。

本発明の目的を達成するために、例えば、本発明のプログラムは以下の構成を備える。

即ち、両面印刷が指定されているか否かを判別する第1判別手段と、

前記第1判別手段により両面印刷が指定されていると判別された場合、自動判別自動両面印刷が指定されているか否かを判別する第2判別手段と、

前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていると判別され且つ現在処理中のジョブが両面印刷に適するジョブであると判断された場合には、両面印刷すると決定し、

前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていると判別され且つ両面印刷が指定されているが現在処理中のジョブが両面印刷に適さないジョブであると判断された場合には、片面印刷すると決定する決定手段と、

前記第1判別手段により両面印刷が指定されていないと判別された場合には、片面印刷する制御コマンドを生成し、前記第2判別手段により自動判別自動両面印刷が指定されていないと判別された場合には、両面印刷する制御コマンドを生成し、前記決定手段により両面印刷すると決定された場合には、両面印刷する制御コマンドを生成し、前記決定手段により片面印刷すると決定された場合には、片面印刷する制御コマンドを生成する生成手段と、

前記生成手段により生成された制御コマンドをプリンタに送信する送信手段と

してコンピュータを機能させる。